

産科・婦人科領域の研究を助成

神澤医学研究振興財団「第20回講演会」

子宮頸がん予防研究に尽力

神澤医学賞の上田豊講師が講演

公益財団法人神澤医学研究振興財団（神澤陸雄理事長）は6月1日、ホテルオークラ東京に於て同財団主催の「第20回講演会」を開催した。財団関係者、招待者および出捐企業であるキッセイ薬品工業株式会社の関係者等が出席し、各研究者の研究発表に耳を傾けた。

同財団は、平成9年6月設立以来、周産期および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する研究発表の奨励等の多角的な研究を奨励するための助成事業および優れた研究成果に対する褒賞事業を行っており、毎年この時期に、その研究成果発表のための講演会を開催している。当日は、研究発表に先立ち神澤陸雄財団理事長



財団を代表して挨拶する神澤陸雄理事長

（キッセイ薬品工業株式会社代表取締役会長）が、「我が国における少子高齢化問題は将来への社会的な深刻な課題です。当財団では、その基本的な対策の一つとして、子供を産み育てる女性の健康の保持・増進を図ることが重要である」と考え、周産期並びに高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する原因、予防、診断、治療等に対する研究助成事業を進めております。本日発表していただく研究成果が、女性医学研究の発展に貢献することを確信するとともに、先生方にはこれを契機にますます活躍されることを期待します」と挨拶した。

医療面からの少子化対策

神澤医学研究振興財団は、日本におけるもっとも深刻な課題の一つである少子・高齢化問題に対し、女性の健康保持、増進を図るための産科および婦人科医療の分野における医療面からの貢献を目的に平成9年6月に設立された。以来、周産期および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する原因、予防、診断、治療などに資するための多角的な研究の奨励事業を行っている。

同財団設立にあたっては、当時のキッセイ薬品工業代表取締役会長・神澤邦雄の私財と、同社が創業50周年を記念して助成207件（約2億3000万円）、海外留学助成78件（3900万円）の褒賞・助成事業が行われ、その研究成果は広く公表され、医療・医学の発展に寄与している。

成果発表で活発な討論

続いて、平成28年度に研究助成金を交付された先生方から研究成果が発表され、活発な討論が行われた。次いで、この分野で先見的・独創的研究により顕著な功績をあげた研究者に贈呈される第20回神澤医学賞（研究褒賞）贈呈式が行われ、平成29年度受賞者の大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学の上田豊講師に神澤理事長より賞状が贈呈された。引き続き上田講師から、「子宮頸がん予防の実効性向上に向けて研究に当たっている。また、子宮頸がん検診の重要性が高まっている現状において、若年女性への子宮頸がん検診の認識を高めるための活動等も進めてきた。上田講師はこのように一貫して子宮頸がんの制圧に向けた研究活動を展開しており、その成果は学術的意義に加えて社会的な重要性も高い。」



講演する大阪大学大学院の上田豊講師

公益財団法人 神澤医学研究振興財団「第20回講演会」プログラム

- I. 開会挨拶 理事長 キッセイ薬品工業株式会社 代表取締役会長 神澤 陸雄
- II. 第20回助成研究発表
 - 司会 評議員 独立行政法人国立病院機構京都医療センター 院長 小西 郁生氏
 - <1> アデノシグナル経路を標的とした妊娠高血圧腎症の新規治療法の開発およびアデノシグナルの発症予知マーカーとしての可能性の検討 東京大学医学部附属病院内産科・産科 入山 高行氏
 - <2> 全身性エリテマトーデス合併妊娠の病態解明と新規治療法の開発 東北大学東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門母体医学分野 大江 佑治氏
 - <3> Sonic hedgehog pathwayをターゲットとした胎盤機能不全に対する新規治療法の開発 京都大学大学院医学研究科産科・産科学 川崎 薫氏
 - <4> 細胞シート工学再生医療技術を用いたin vitroにおける子宮内膜組織三次元構築と受精卵着床・浸潤解明のための新規実験系の開発に関する研究 東京女子医科大学産科産婦人科学講座 蔵本 吾郎氏
 - <5> 母体インスリン抵抗性に注目した胎盤発育機序の解明 杏林大学産科産婦人科学教室 田中 啓氏
 - <6> 閉経後骨粗鬆症の発症を予測するバイオマーカーの開発 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長 大内 耐義氏
 - <7> クロマチン高次構造解析による子宮内膜感受性遺伝子座の転写制御メカニズム解明 東京医科歯科大学大学院医学総合研究科細胞生理学 佐藤 信吾氏
 - <8> 子宮内膜症の病変を非侵襲的に高精度かつ高精度で検出することが可能な、新規PET診断用放射性薬剤の開発研究 群馬大学大学院医学系研究科バイオイメージング情報解析学 花岡 宏史氏
 - <9> 変形性関節症の病態発現における脂質メチエーターの役割 金沢大学医薬保健研究域薬学系薬理学 檜井 栄一氏
 - <10> 閉経後骨粗鬆症の画期的な治療・予防につながるエビゲノム創薬の研究 大阪大学免疫学フロンティア研究センター免疫細胞生物学 西川 恵三氏
- III. 第20回 神澤医学賞贈呈式
- IV. 第20回 神澤医学賞受賞講演
 - 司会 前選考委員 東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座生体内分泌学分野 教授 藤井 知行氏
 - 子宮頸がん予防の実効性向上に向けた研究 大阪大学大学院医学系研究科産科産婦人科学 講師 上田 豊氏

財団の概要	
名称	公益財団法人 神澤医学研究振興財団
所在地	〒399-8710 長野県松本市芳野19番48号
行政庁	内閣府
設立	平成9年6月27日
公益財団移行	平成22年7月1日
出捐者	故・神澤邦雄、キッセイ薬品工業株式会社
設立経緯	当時のキッセイ薬品工業株式会社代表取締役会長神澤邦雄からの私財の提供、およびキッセイ薬品工業株式会社からの創業50周年を記念しての資金提供により設立
基本財産	1,938,398,867円
設立目的	周産期を中心とするリプロダクティブ・エイジ（出産適齢期）および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する原因、予防、診断、治療等の多角的な研究（以下、対象研究）の奨励等を行うことにより、医療・医学の発展を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする
事業概要	目的達成のため以下の事業を行う (1) 対象研究に関する優れた研究成果に対する褒賞（神澤医学賞） (2) 対象研究に関する研究助成 (3) 対象研究に関する海外留学助成 (4) 対象研究に関する講演会の開催
研究褒賞・助成計画	神澤医学賞（研究褒賞） 1件 300万円 1件 研究助成 1件 150万円 10件 海外留学助成 1件 50万円 4件

子どもを安心して生み育てられる社会を目指すために、そして女性の一生が健やかであるために、心身ともに健康でいられる環境の整備が求められています。私たち神澤医学研究振興財団は、子どもを生み育てる女性及び高・老年期の女性に発現するさまざまな疾患に関する原因、予防、診断、治療等の多角的な研究に対して助成を行っています。

神澤 陸雄 公益財団法人 神澤医学研究振興財団 理事長
 〔設立〕平成9年6月27日
 〔設立経緯〕当時のキッセイ薬品工業代表取締役会長神澤邦雄からの私財の提供及びキッセイ薬品工業株式会社からの創業50周年を記念しての資金提供により設立

長野県松本市芳野19番48号
<http://www.kissai.or.jp/fund/fund.html>

いつも優しい眼差しで見守ってくれたあの笑顔、いつしか我が子を抱いている姿に、遠い日の母の温もりを感じる瞬間……すべてはそこからはじまったから……私たちが守りたいのは命の源、女性の健やかな毎日を応援します。

絶えることなき、その温もり、その優しさを応援したい。

画／(故)坂元 正一 神澤医学研究振興財団 設立発起人・元理事
 元社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター所長・元東京大学名誉教授